

自動車盗の発生状況(令和8年4月末)

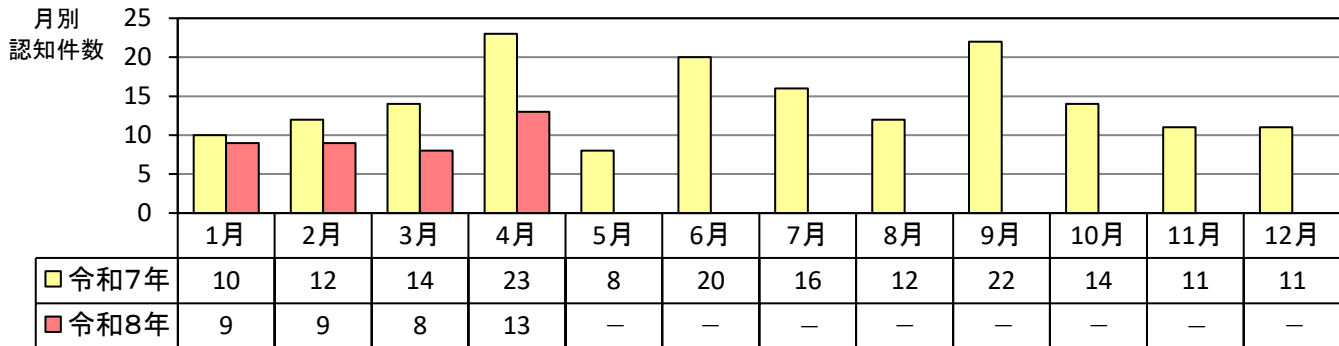
街頭
犯罪

1 認知件数

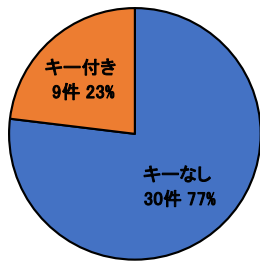
認知件数	前年比	増減率	被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
39	-20	-33.9%	10	+2
				25.6%
				+12.1%

※被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和8年4月末時点の、県内における自動車盗は39件発生、被害総額は約1億187万円、前年比-20件(増減率-33.9%)となっており、約3日に1台が盗難被害に遭っています。

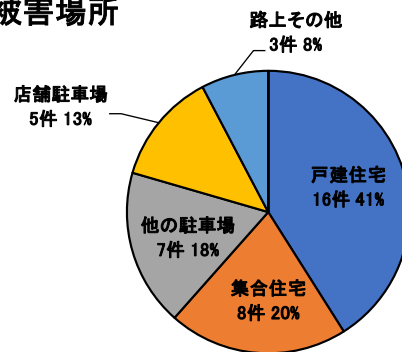


2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害は77%

3 被害場所



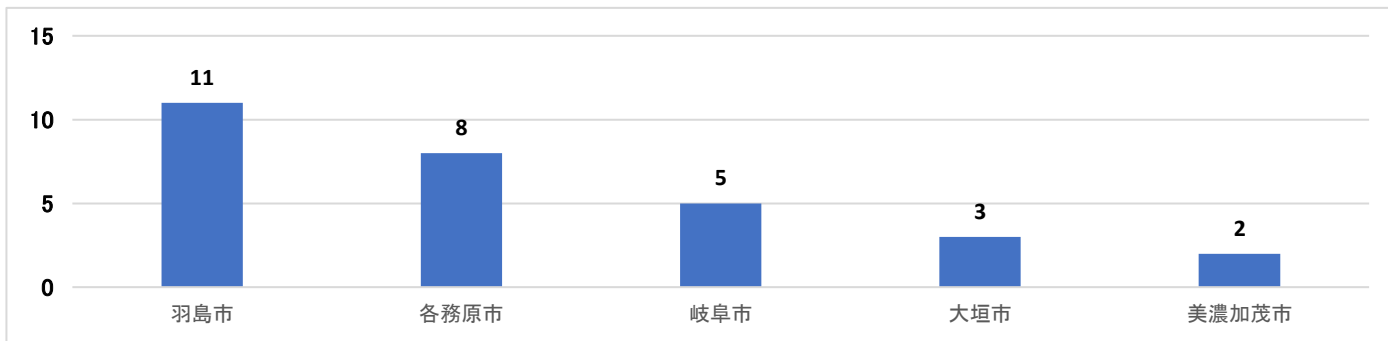
自宅周辺における被害は61%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅)

4 被害車両の種別

車種別 認知件数	乗用車	貨物自動車	特殊自動車	他の自動車
	33	3	2	0

※ 未遂 1件

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 自動車盗難防止のポイント ～

1. 短時間の駐車でも車から離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ドアロック」をしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ハンドルロック、タイヤロック、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

オートバイ盗の発生状況(令和8年4月末)

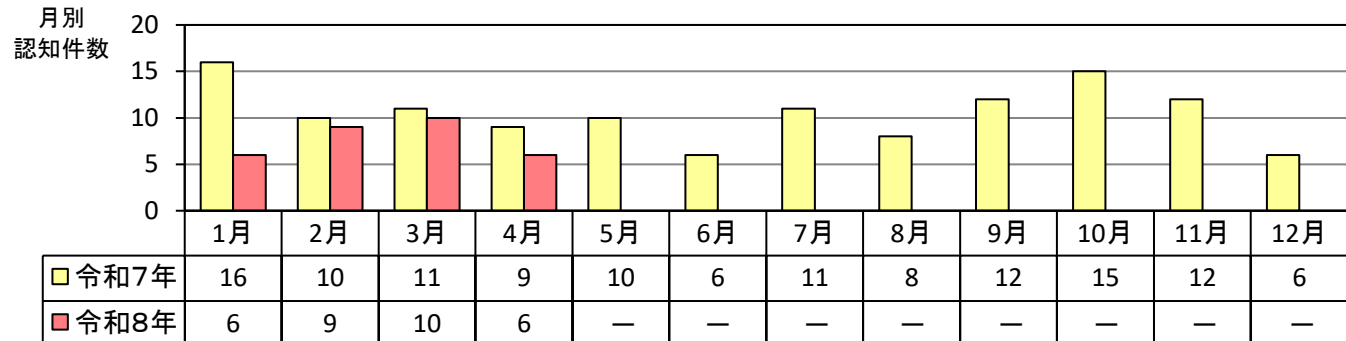
街頭
犯罪

1 認知件数

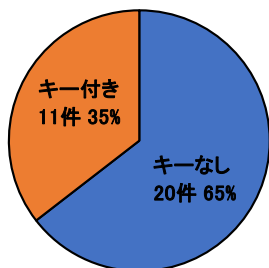
認知件数	前年比	増減率	被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
31	-15	-32.6%	16	51.6%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和8年4月末時点の、県内におけるオートバイ盗は31件発生、前年比-15件(増減率-32.6%)となっており、31件中23件は原動機付自転車の盗難被害になります。

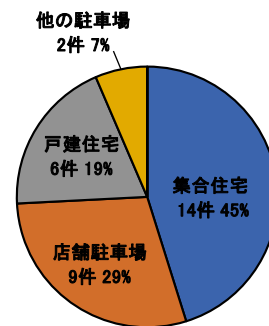


2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害が65%

3 被害場所



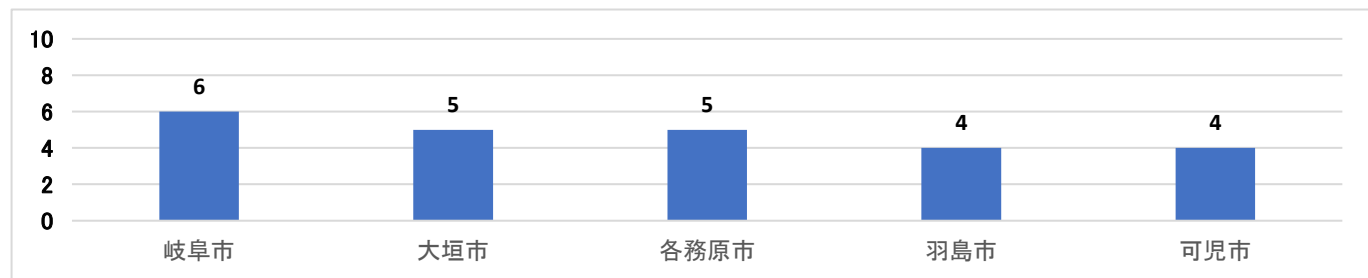
自宅周辺における被害は64%
(自宅周辺：戸建・集合住宅)

4 被害者の年代

年齢別認知件数	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
	1	6	6	5	5	2

※法人被害6件

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ オートバイ盗難防止のポイント ～

1. オートバイから離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ハンドルロック」をしましょう。
2. U字ロックやワイヤーロックで「ツーロック」をして、バイクカバーを掛けましょう。
3. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。

自転車盗の発生状況(令和8年4月末)

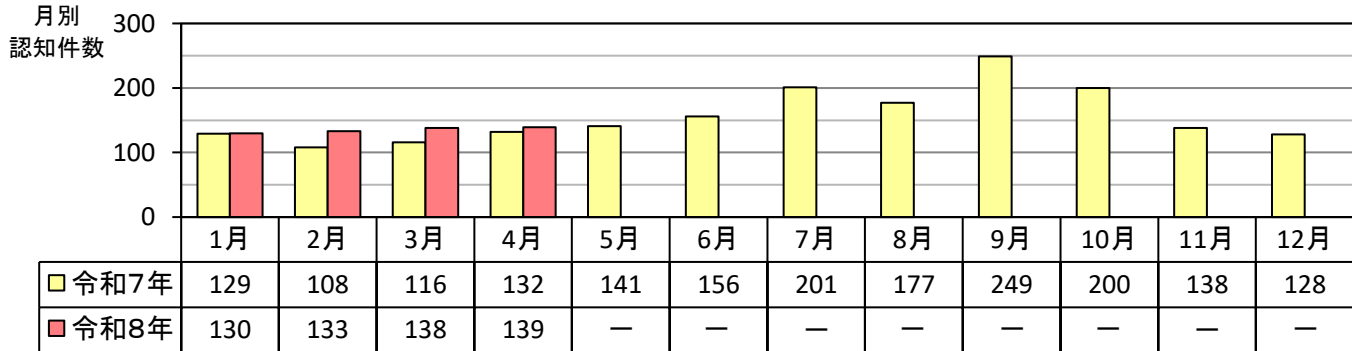
街頭
犯罪

1 認知件数

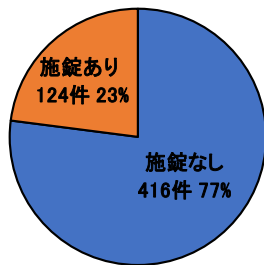
認知件数	前年比	増減率	被害回復件数(前年比)	被害回復率(前年比)
540	+55	+11.3%	269	49.8%
			+20	-1.5%

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和8年4月末時点の、県内における自転車盗は540件発生、前年比+55件(増減率+11.3%)となっており、刑法犯全体の約12.7%を占め、1日平均4台が盗難被害に遭っています。

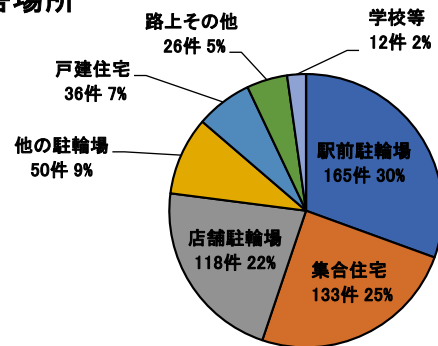


2 被害時における施錠の有無



無施錠の被害が77%

3 被害場所

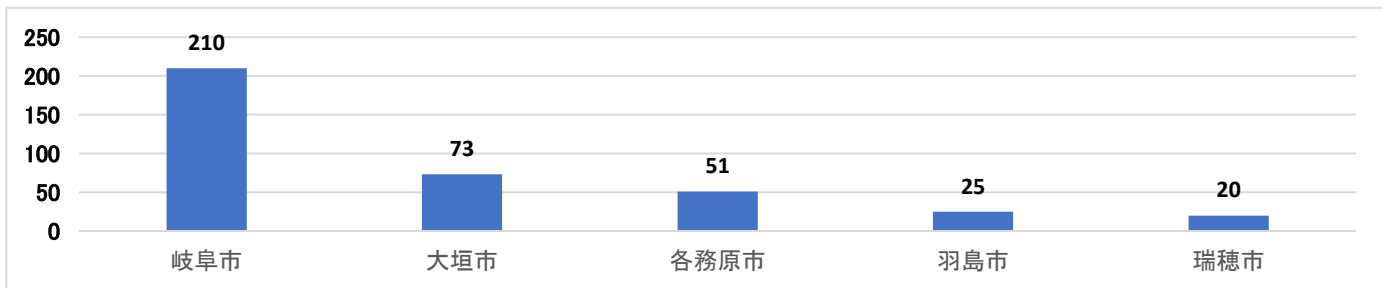


駐輪場における被害は61%
駐輪場（駅前駐輪場、店舗駐輪場、他の駐輪場）

4 被害者の職業

職業別	小学生	中学生	高校生	大学生	専修生等	学生以外
認知件数	10	34	180	78	32	206
(うち無施錠)	8	30	152	59	25	142

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 自転車盗難防止のポイント ～

1. 少しの時間でも自転車から離れるときは、必ず鍵を掛けましょう。
2. 駐輪する際の施錠は、「ツーロック」をしましょう。
3. 駐輪する際は、防犯設備の整った駐輪場を利用しましょう。

車上ねらいの発生状況(令和8年4月末)

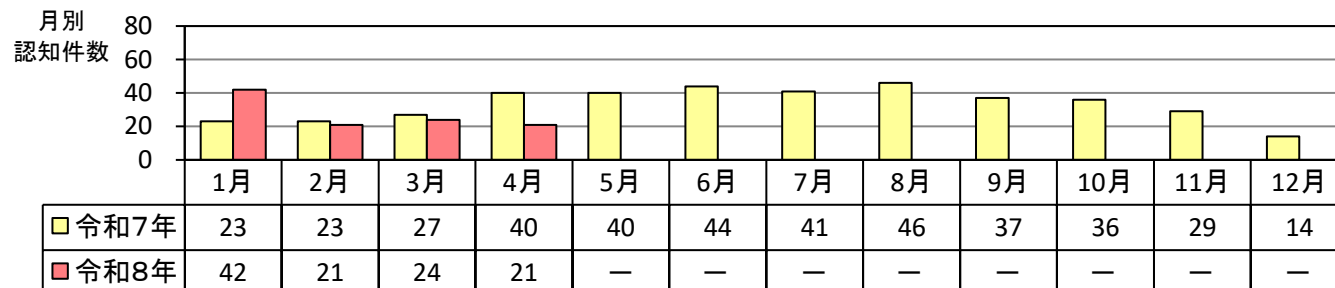
街頭
犯罪

1 認知件数

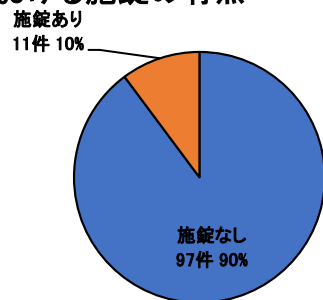
認知件数	前年比	増減率
108	-5	-4.4%

令和8年4月末時点の、県内における車上ねらいは108件発生、被害総額は約723万円、前年比-5件(増減率-4.4%)となっており、1日平均1台が盗難被害に遭っています。

車上ねらい被害のうち97件(約90%)は無施錠の状態被害に遭っています。

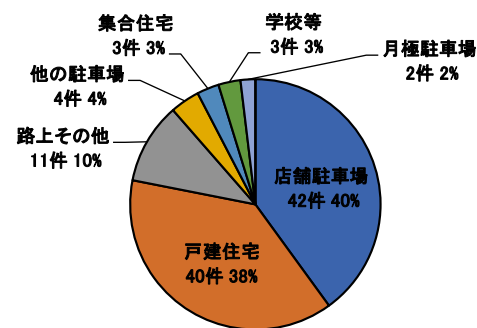


2 被害時における施錠の有無



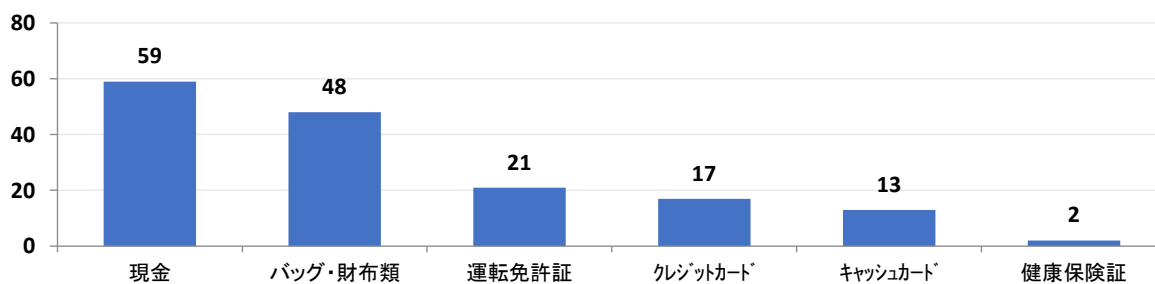
無施錠時の被害が90%

3 被害場所

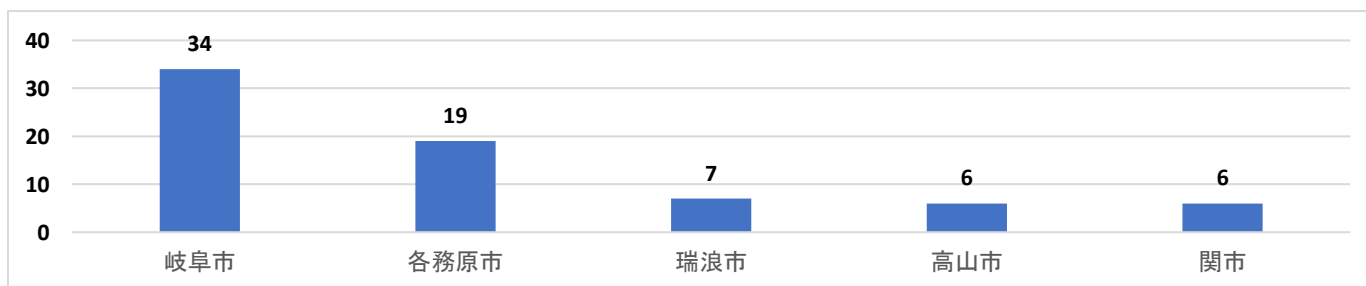


自宅周辺における被害は43%
(自宅周辺：戸建住宅、集合住宅、月極駐車場)

4 主な被害品(被害品を複数計上)



5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 車上ねらい被害防止のポイント ～

1. 駐車時には、必ず「施錠」をして、車内には「カバンや貴重品を放置しない」ようにしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. 振動センサーなどの盗難防止装置を活用しましょう。

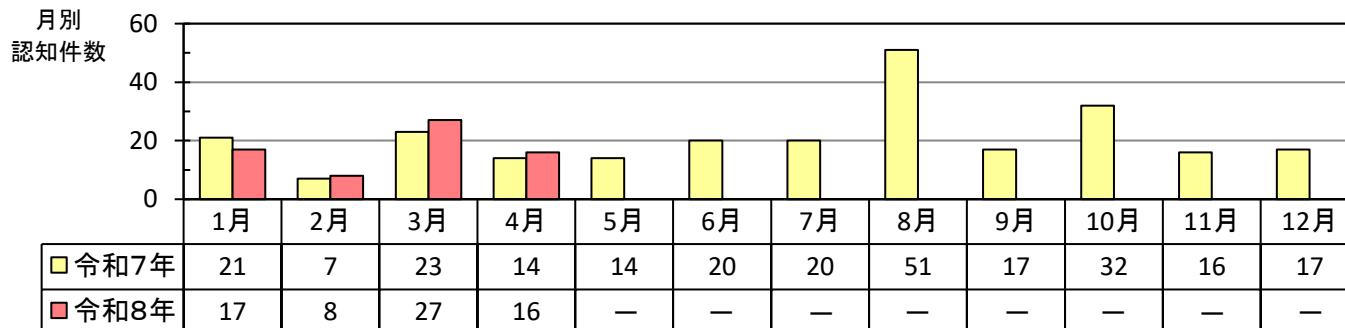
部品ねらいの発生状況(令和8年4月末)

街頭
犯罪

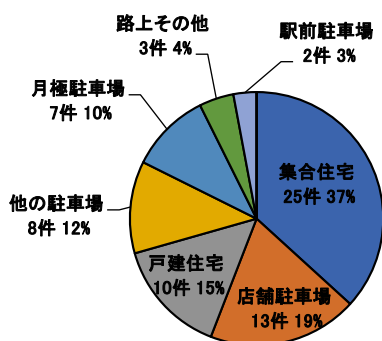
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
68	+3	+4.6%

令和8年4月末時点の、県内における部品ねらいは68件発生、被害総額は約1,431万円、前年比+3件(増減率+4.6%)となっており、約2日に1台が被害に遭っています。



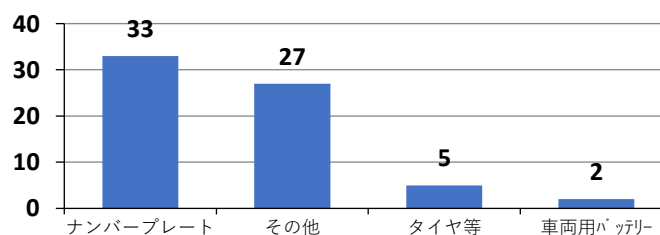
2 被害場所



自宅周辺における被害は62%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)



3 主な被害品



ナンバープレートやその他の車両部品(外装等)の被害が多い。

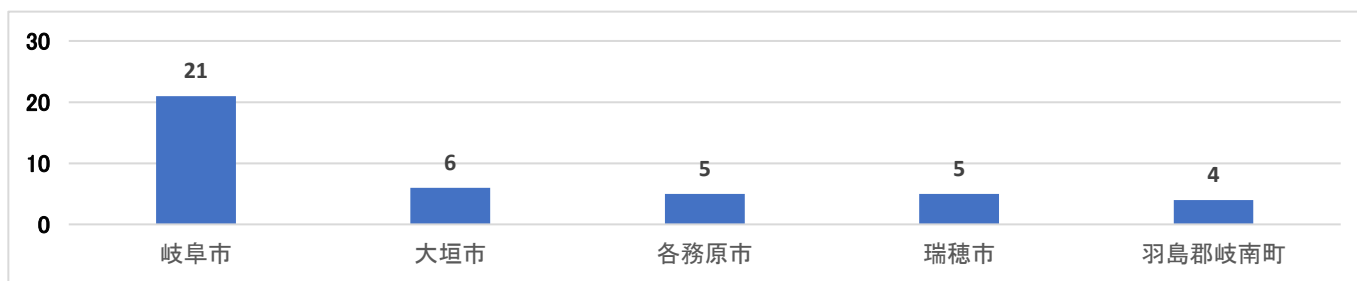
その他の車両部品(外装等)としてバッテリー、ヘッドライト、エンブレム等が狙われている。

被害を防ぐには、

- ナンバープレート盗難防止ネジ
- タイヤ盗難防止ナット
- バッテリー盗難防止ロックナット

などによる**車両部品に対する防犯対策**が必要！

4 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 部品ねらい被害防止のポイント ～

1. ナンバープレートには、「盗難防止ネジ」を装着しましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ロックナット、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

ひったくりの発生状況(令和8年4月末)

街頭
犯罪

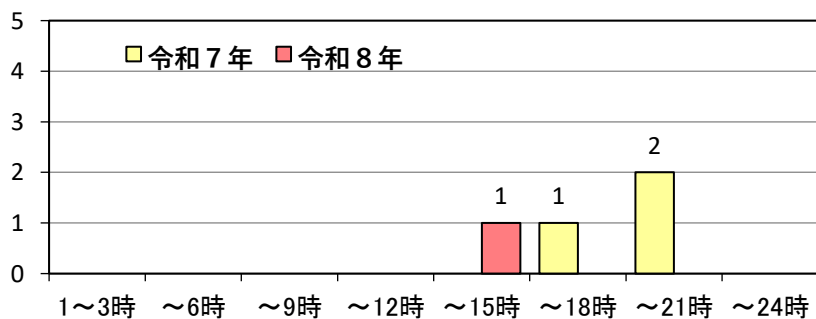
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
1	+0	+0.0%

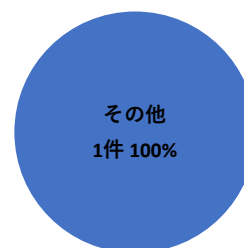
令和8年4月末時点の、県内におけるひったくりは1件発生、前年比±0件となっています。



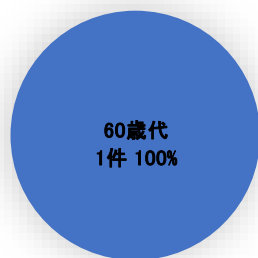
2 時間帯別発生状況



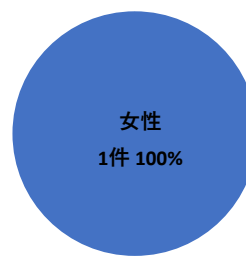
3 場所別発生状況



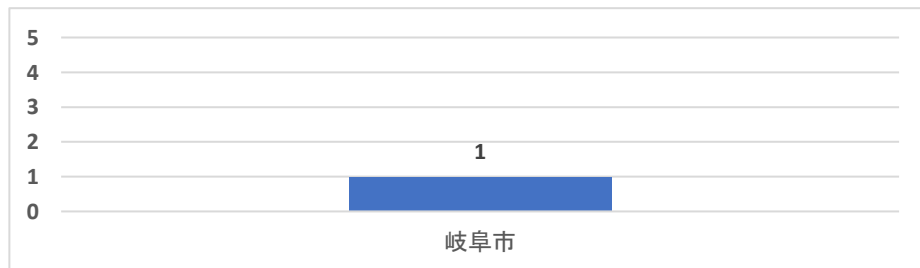
4 被害者の年齢



5 被害者の性別



6 市町村別発生状況



～ ひったくり被害防止のポイント ～

1. 道路や歩道では、車道の反対側にカバンや荷物を持ちましょう。
2. 自転車のカゴには、ひったくり防止のカバーやネットを取り付けるのが被害防止に有効です。
3. 金融機関、ATM等を利用した後などは、特に周囲に注意してください。

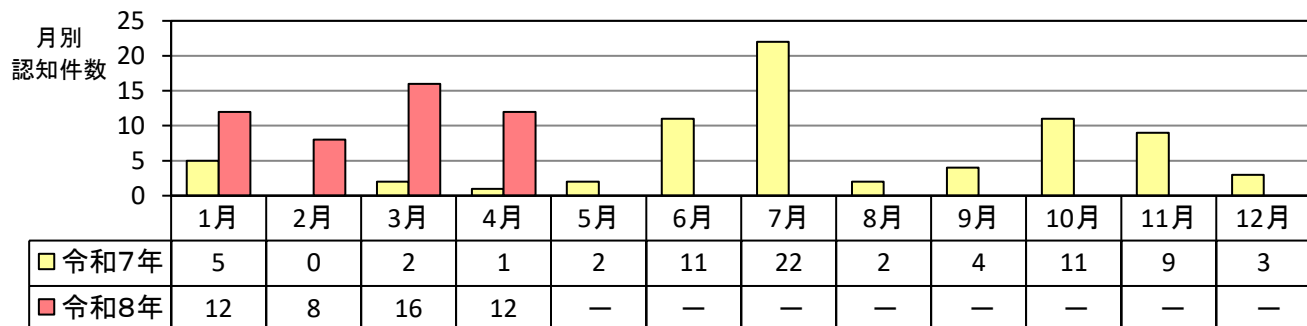
自販機ねらいの発生状況(令和8年4月末)

街頭
犯罪

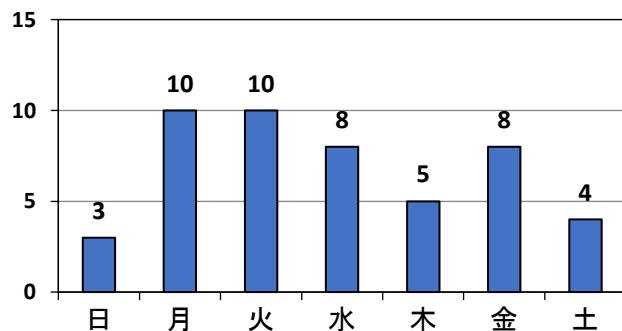
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
48	+40	+500.0%

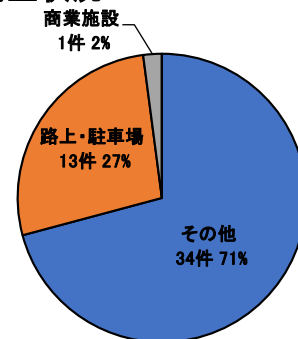
令和8年4月末時点の、県内における自販機ねらいは48件発生、被害総額は約44万円、前年比+40件(増減率+500.0%)となっており、約3日に1件発生しています。



2 曜日別発生状況



3 場所別発生状況



その他の場所における被害は71%

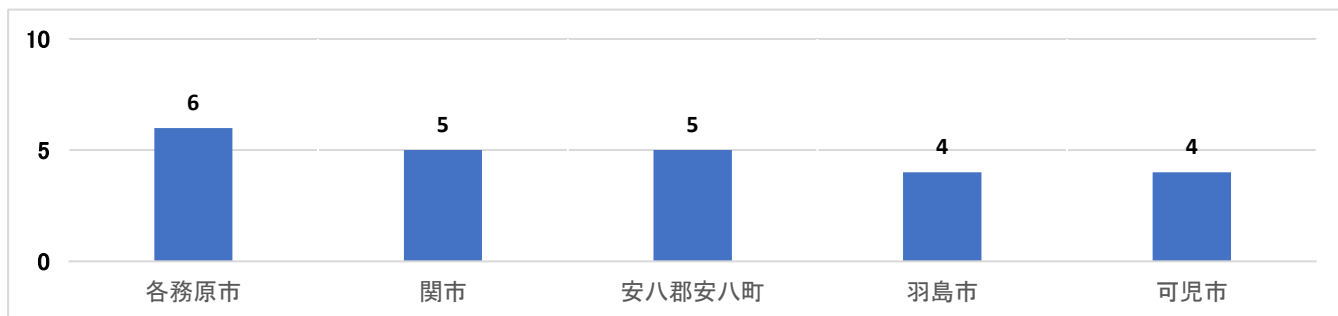
※ その他は住宅・会社・事務所など

4 地域別発生状況

地域別認知件数	岐阜地域	西濃地域	中濃地域	東濃地域	飛騨地域
認知件数	15	15	15	3	0



5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 自販機ねらい被害防止のポイント ～

1. 自動販売機の設置場所付近に、防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器を設置しましょう。
2. 店内や軒下でも被害に遭っていることから、自動販売機自体を堅牢化しましょう。
3. 自動販売機内の売上金等は、こまめに回収しましょう。

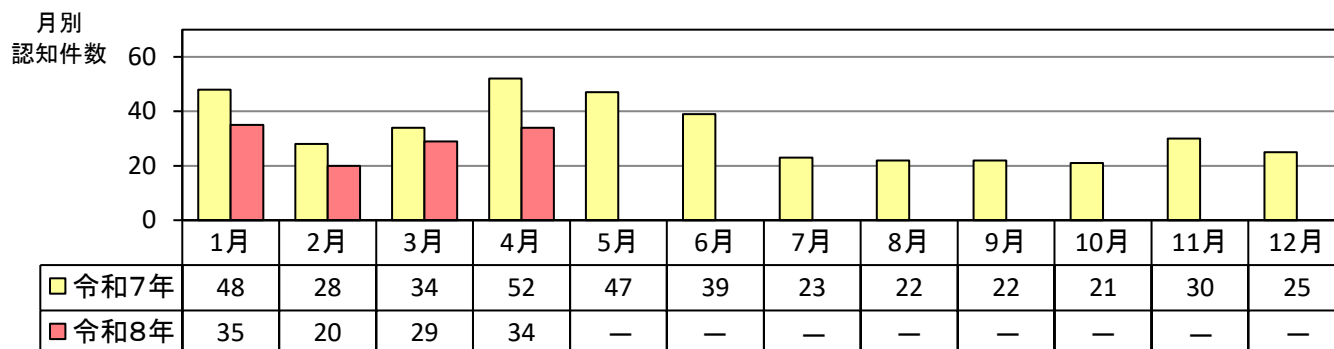
空き巣の発生状況(令和8年4月末)

侵入
犯罪

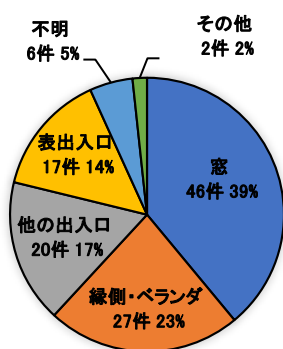
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
118	-44	-27.2%

令和8年4月末時点の、県内における空き巣は118件発生、被害総額は約1億4,295万円で、前年比-44件(増減率-27.2%)となっており、1日平均1件発生しています。

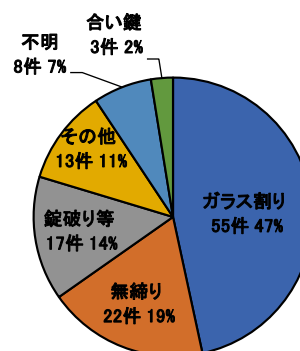


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は31%

3 侵入方法



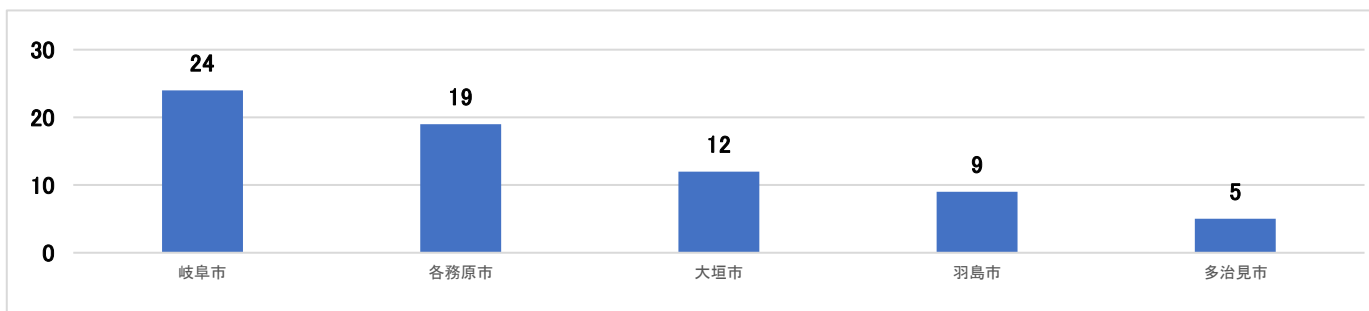
ガラス割りによる被害は47%

4 建物別発生状況

建物別認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他
	103	9	4	2

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



~ 空き巣被害防止のポイント ~

1. 外出するときは、必ず出入口、窓などに鍵を掛け、無締り箇所がないか確認しましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

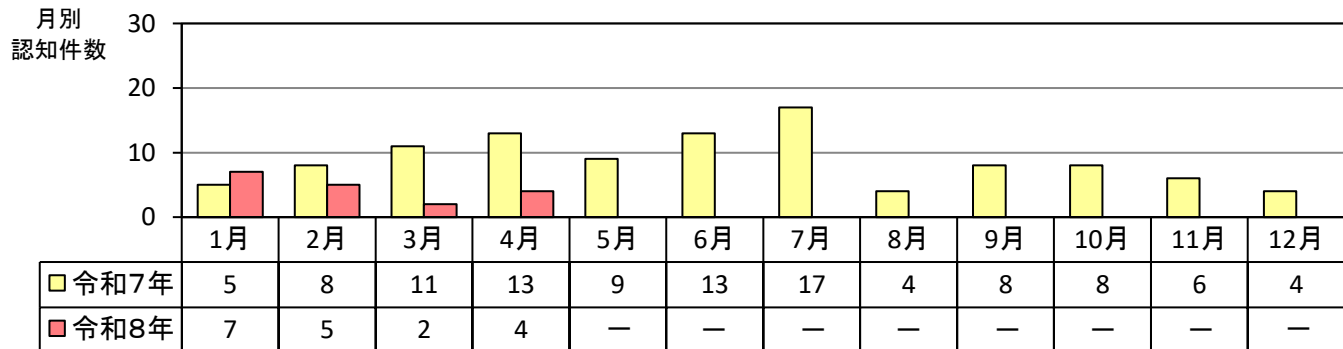
忍込みの発生状況(令和8年4月末)

侵入
犯罪

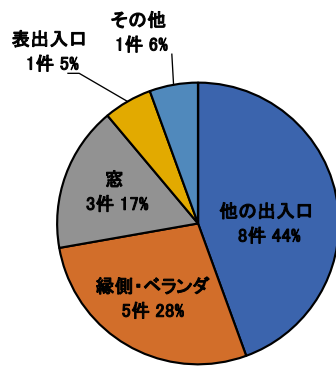
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
18	-19	-51.4%

令和8年4月末時点の、県内における忍込みは18件発生、被害総額は約6,824万円、前年比-19件(増減率-51.4%)となっており、約7日に1件発生しています。

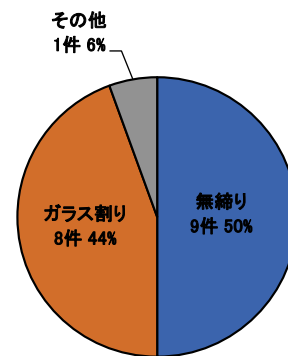


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は49%

3 侵入方法



無締りによる被害は50%

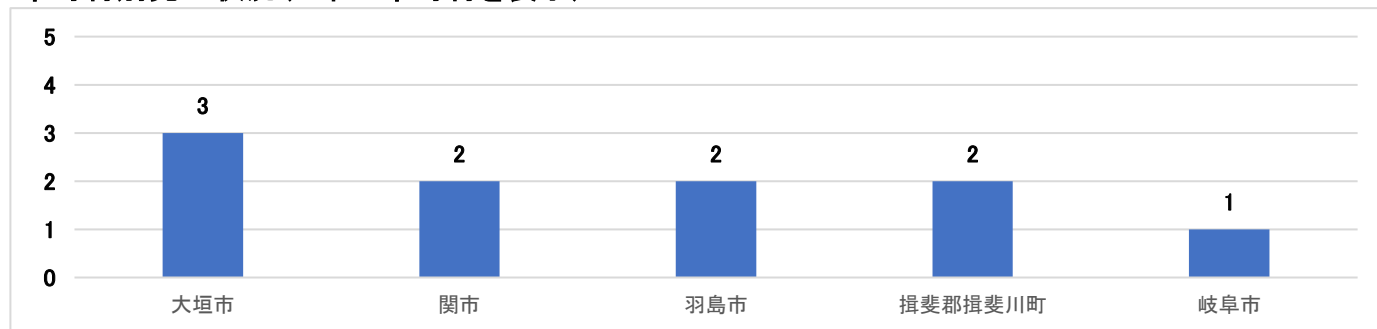
4 建物別発生状況

建物別 認知件数	戸建住宅	集合住宅(低層)	集合住宅(中高層)	その他の建物
	17	1	0	0

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上

※戸建住宅が被害の対象となっている。

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



~ 忍込み被害防止のポイント ~

1. 在宅時も出入口、窓など確実な施錠を習慣づけましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

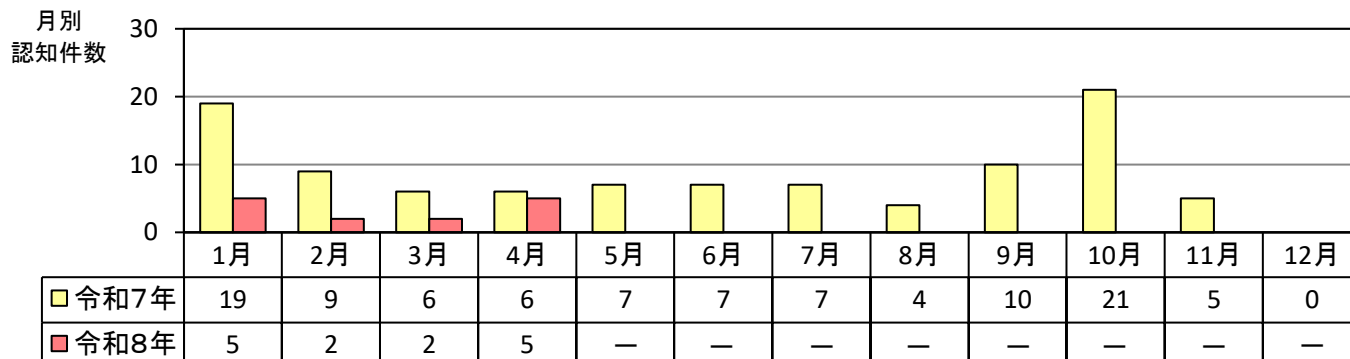
事務所荒しの発生状況(令和8年4月末)

侵入
犯罪

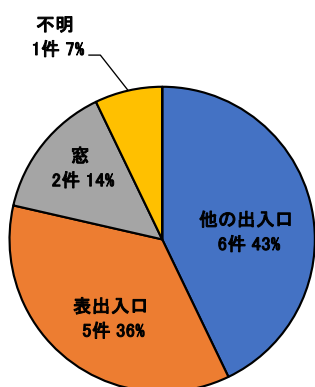
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
14	-26	-65.0%

令和8年4月末時点の、県内における事務所荒しは14件発生、被害総額は約1,687万円、前年比-26件(増減率-65.0%)となっており、約9日に1件発生しています。

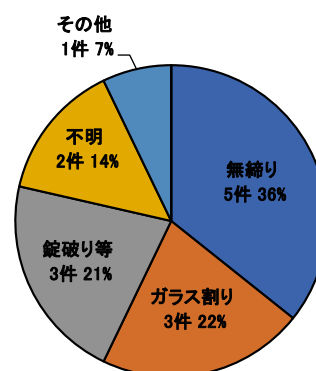


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は79%

3 侵入方法

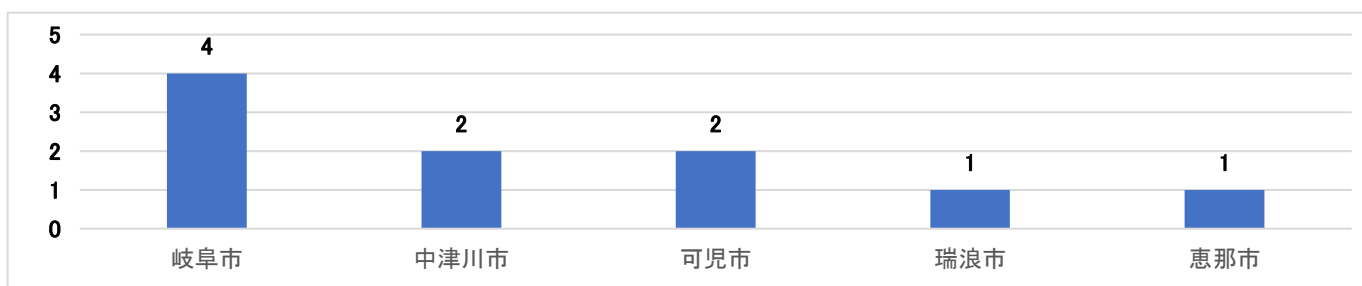


無締りによる被害は36%

4 建物別発生状況

建物別 認知件数	会社・事務所	飲食店	他の商店	その他
	8	1	1	4

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 事務所荒し被害防止のポイント ～

1. 事務所の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 事務所が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

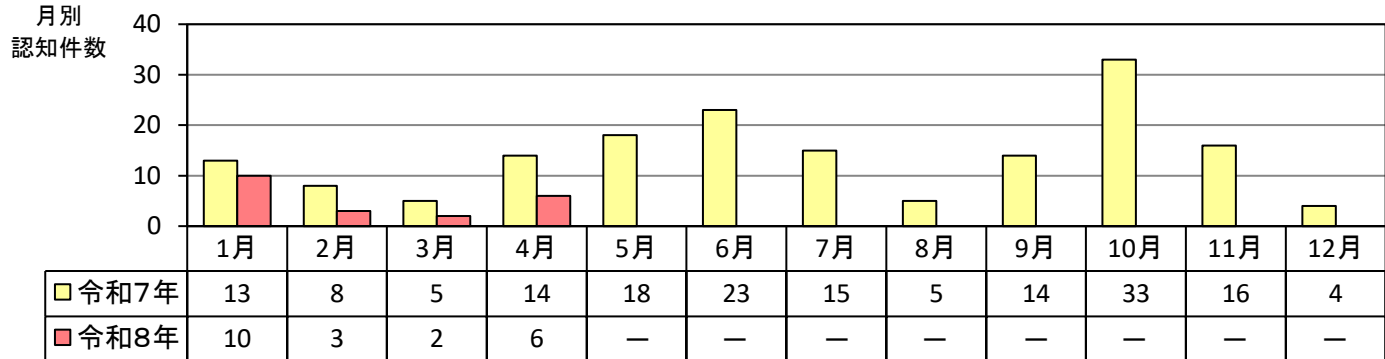
出店荒しの発生状況(令和8年4月末)

侵入
犯罪

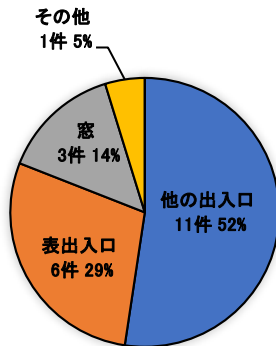
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
21	-19	-47.5%

令和8年4月末時点の、県内における出店荒しは21件発生、被害総額は約744万円、前年比-19件(増減率-47.5%)となっており、約6日に1件発生しています。

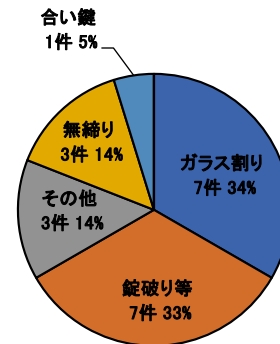


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は81%

3 侵入方法

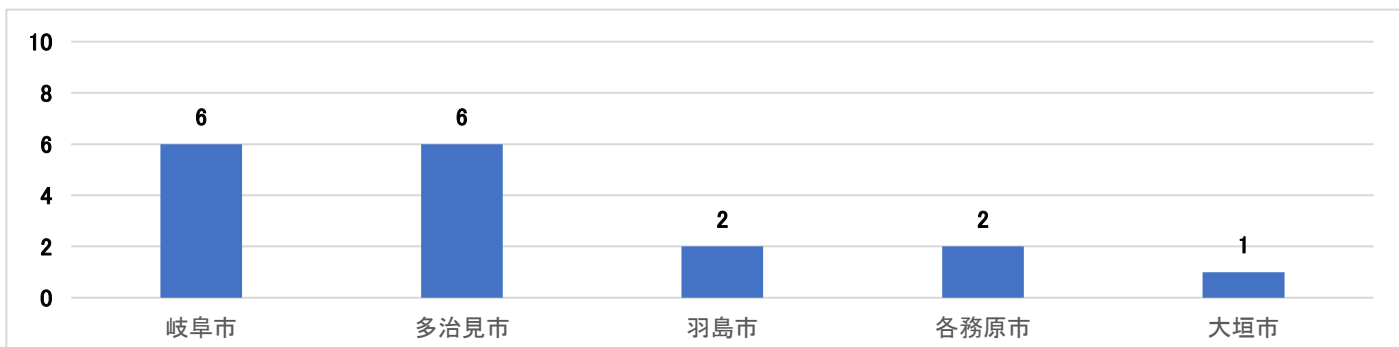


ガラス割りによる被害は34%

4 建物別発生状況

建物別	飲食店	他の店舗	会社・事務所	その他
認知件数	13	3	0	5

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



～ 出店荒し被害防止のポイント ～

1. 店舗の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 店舗が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

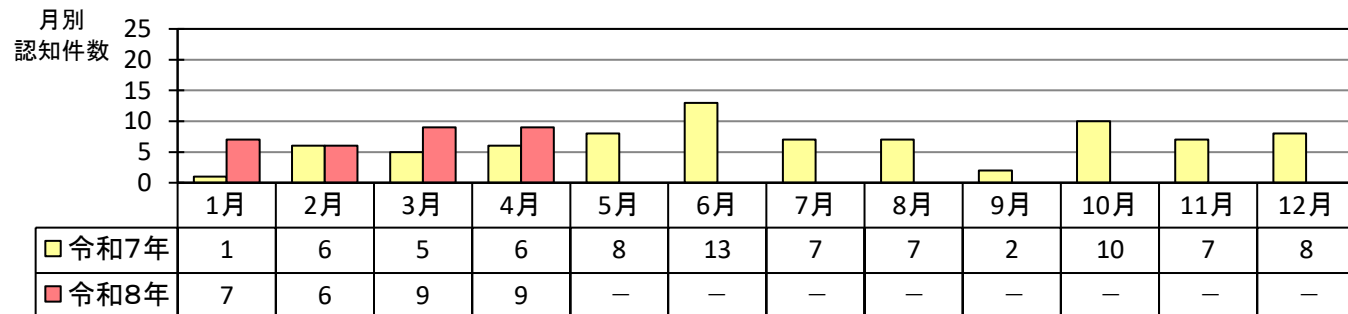
不同意わいせつの発生状況(令和8年4月末)

その他

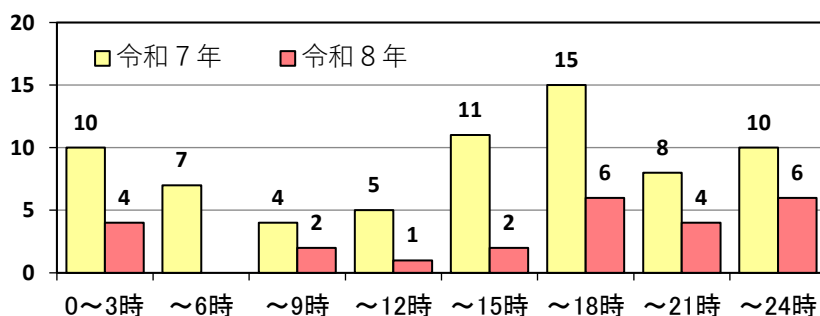
1 認知件数

認知件数	前年比	増減率
31	+13	+72.2%

令和8年4月末時点の、県内における不同意わいせつは31件発生、前年比+13件(増減率+72.2%)となっています。

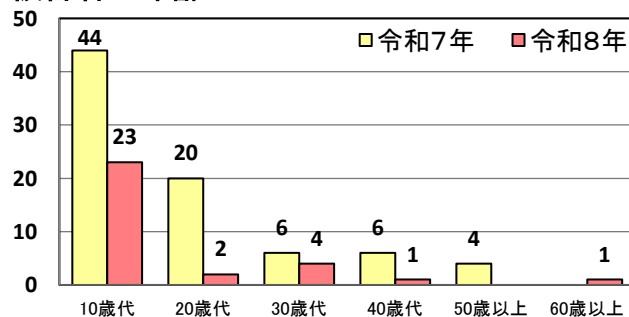


2 時間帯別発生状況

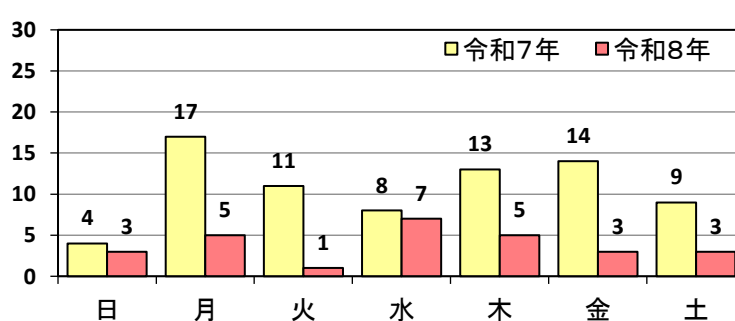


※令和7年時間帯不明 10件
令和8年時間帯不明 6件

3 被害者の年齢

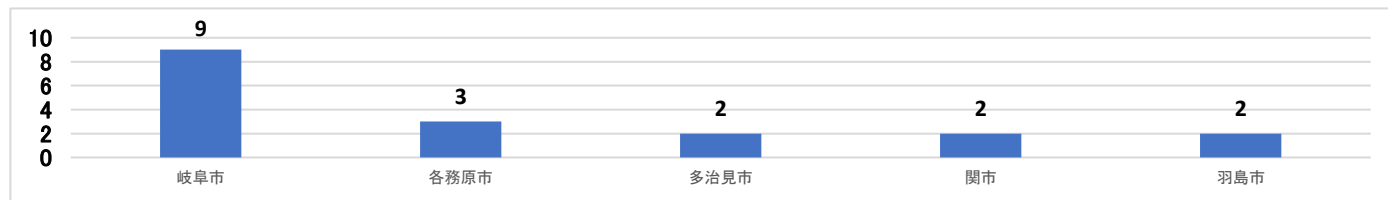


4 曜日別発生状況



※令和7年曜日不明 4件
令和8年曜日不明 4件

5 市町村別発生状況(上位5市町村を表示)



~ 不同意わいせつ被害防止のポイント ~

1. 夜間の外出は、街路灯に照らされ、人通りの多い道を歩きましょう。
2. 道路を歩く時は、イヤホン(音楽)などで耳を塞がず、周りを警戒しましょう。
3. 防犯ブザーなどの防犯器具を持ち歩きましょう。
4. 女性の一人暮らしの場合は、表札の名前を苗字にするなどして、一人暮らしを悟られないようにし、配達や集金を装う者が訪問しても、すぐには扉を開けず、ドアチェーンを掛けて対応するよう心掛けましょう。

万引きの発生状況(令和8年4月末)

その他

1 万引きの認知件数

(1) 令和8年4月末時点

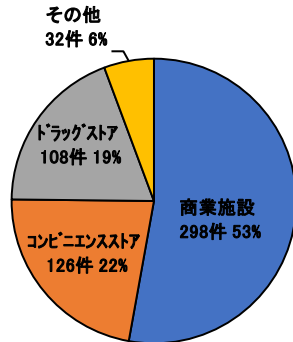
認知件数	前年比	増減率
564	+27	+5.0%

(2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年	137	111	146	143	162	131	174	127	147	154	133	122	1,687
令和8年	154	123	163	124	-	-	-	-	-	-	-	-	564

令和8年4月末時点の、県内における万引きは564件発生、前年比+27件(増減率+5.0%)となっています。

2 被害施設



商業施設における被害は53%

※ 商業施設とは、デパート、ショッピングモール、スーパーなど

3 被害金額

順位	場所	被害金額(千円)
1	商業施設	6,406
2	ドラッグストア	1,636
3	その他	1,430
4	コンビニ	257

- ・ 商業施設における被害額が最も多い
- ・ 一件当たりの被害額が大きいのはドラッグストアで、その被害額は約15,200円である

4 ドラッグストア対象万引き

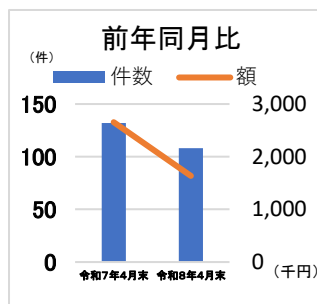
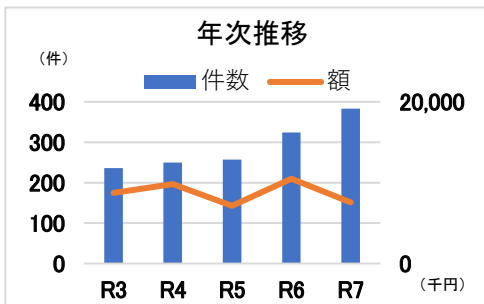
(1) 令和8年4月末時点

認知件数	前年比	増減率
108	-24	-18.2%

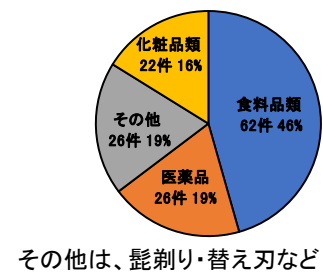
(2) 月ごとの推移(認知件数)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年	41	27	35	29	36	37	41	34	26	23	22	32	383
令和8年	28	33	22	25	-	-	-	-	-	-	-	-	108

(3) 認知件数と被害額の推移



(4) 主な被害品(複数計上)



～ 万引き被害防止のポイント ～

1. 来店客には、顔を見て「いらっしゃいませ」などと積極的に声掛けし、万引きをさせない雰囲気づくりに努めましょう。
2. 店舗内に死角が生じないように、商品の陳列棚等の設置場所や商品の陳列方法に配慮しましょう。
3. 売り場や店舗出入口のほか、駐車場等の店舗周辺にも防犯カメラを設置しましょう。